

気温が上昇すると空気中に含まれる水蒸気の量が増え、結果として雪の量も増えてきます。この背景には日本海など日本周辺海域の水温上昇があり、空気に補給される水蒸気量の増加が挙げられます。

夏の猛暑も冬のドカ雪も原因は地球の気温が100年あたり0.78℃(日本は1.40℃)上昇、特に近年は急上昇(図1)しており、その原因が産業革命以降の二酸化炭素など温室効果ガスの増加(図2)、人間活動から生じていることは『疑う余地がない』と、世界の科学者でつくる国連の「気候変動に関する政府間パネル」が断定しています。温室効果ガス(二酸化炭素の削減は喫緊の課題です。

銚子市においても2021(令和3)年「ゼロカーボンシティ銚子」を表明し、2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指す「銚子市ゼロカーボンビジョン」を策定しています。市民の皆様

も一人ひとりができることに取り組み持続可能な銚子市を目指しましょう。

ジオガイドの筆随一リ 日本ジオパーク 全国大会の想い出 房州 文字

日本ジオパーク全国大会は、2010年第一回糸魚川大会から始まり、昨年2025年十勝岳大会で十五回開催されました。

私は2014年第五回南アルプス大会から毎年参加して、昨年の十勝岳大会で一回目の参加になりました。初めて参加した南アルプス大会では初日の2014年9月27日に御嶽山で噴火があり、火山学者や関係者の先生方が大会会場から慌てて出ていかれたのを覚えています。駐車場に止めてあった車に火山灰が降り積もっ

ていました。人生初の山荘というものに宿泊し、翌日早朝のツアーに参加し、これも人生初の南アルプスの稜線から昇る朝日を眺めました。

翌年第六回霧島大会の思い出は飛行機で耳が痛かった事、交流会に沢山の焼酎が並んだ事、ホテルの選び方が悪く温泉に入れなかったので、帰りの鹿児島空港で足湯の温泉に浸かった事、それ以降は耳栓を持参してホテルはなるべくなら温泉付きを選ぶと

しています。第七回伊豆半島大会、第八回男鹿半島・大潟大会は市民の会から多数の参加者がありみんなで一緒に楽しみました。ポストジオツアーではゆざわジオパークを訪れ、その頃から毎年顔を合わせる数名の他地域のガイドさんと親しくなり、来年会う約束をするようになり、第九回アポイ岳大会では大会前のプレジオツアーで白滝ジオパークを訪れ、白滝



のガイドさんと再会をしました。

第十三回関東大会は銚子会場で全国の皆様を迎えてアクティビティのジオツアーを担当しました。第十四回下北大会、第十五回十勝岳大会では銚子のジオツアーに参加してくださった下北や十勝岳のガイドさんにお世話になりました。今年の第十六回日本ジオパーク全国大会は、桜島・錦江湾で2026年11月20日から21日に開催されます。全国に出来たお友達に会うのが楽しみです。

犬岩の清掃と 現地ガイド

向後 和子

三月十五日(日)、この日は春を感じさせる穏やかな日でした。あちこちにハマダイコンの花が咲き始め、砂浜にはコウボウムギが可愛らしい頭を出していました。市民の会を始めナルクの面々が頑張って海岸のゴミを沢山拾い集めました。その中に一人の学生さんが参加していましたが、今日が最後になると言っていました。毎回海岸清掃に参加して下さり、とても有難いことでした。

その後、私達は無料ガイドに臨みました。春めいて暖かくなってきた為か、犬岩にも人々が集まって来ていました。そして終了時間に近づいてきた頃、一台の観光バスが入ってきました。千葉のお寺さんの一行23名様でした。一行が観光バスから降りられると、時間がなかったので、

5分位でガイドしてもらいたいと言われました。私はそれで、犬岩を見てもらいなから、義経伝説と伊能忠敬が犬若岬の自家の台で富士山を観測したことを話しました。すると一人の女性が「富士山が見えている」と言ったのです。よく見ると薄っすらではありますが、本当に富士山が見えていたのです。その後集合写真を撮り、御一行様は犬吠埼へと向かいました。

春のジオ俳句

花ぐもり

人それぞれに 朝の駅

保立 得造

波静か

芋煮楽しむ 君ヶ浜

大吉

宝満に

黒潮寄せて 海女の行く

石嶋 博行